



## AppQoE の検証とトラブルシューティング

簡素化と一貫性を実現するために、Cisco SD-WAN ソリューションは Cisco Catalyst SD-WAN としてブランド名が変更されました。さらに、Cisco IOS XE SD-WAN リリース 17.12.1a および Cisco Catalyst SD-WAN リリース 20.12.1 以降、次のコンポーネントの変更が適用されます：  
**Cisco vManage から Cisco Catalyst SD-WAN Manager への変更、Cisco vAnalytics から Cisco Catalyst SD-WAN Analytics への変更、Cisco vBond から Cisco Catalyst SD-WAN Validator への変更、および Cisco vSmart から Cisco Catalyst SD-WAN Controller への変更。**すべてのコンポーネントブランド名変更の包括的なリストについては、最新のリリースノートを参照してください。新しい名前への移行時は、ソフトウェア製品のユーザーインターフェイス更新への段階的なアプローチにより、一連のドキュメントにある程度の不一致が含まれる可能性があります。

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	説明
AppQoE の拡張トラブルシューティング	Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.6.1a	このリリースでは、AppQoE 機能の問題を確認しトラブルシューティングするための付加的な show コマンドが導入されています。AppQoE の既存の show コマンドもいくつか拡張されました。 - show sdwan appqoe error recent - show sdwan appqoe status - show sdwan appqoe flow closed (キーワード error を含めるようにコマンドを変更) - show sslproxy status (コマンド出力の変更)

## AppQoE の show コマンド

さまざまな AppQoE 機能の設定を確認し、一般的な問題をトラブルシューティングするには、次のコマンドを使用します。

- `show sdwan appqoe`
- `show sdwan appqoe dreopt`
- `show sdwan appqoe dreopt statistics`
- `show sdwan appqoe error recent`
- `show sdwan appqoe status`
- `show sdwan appqoe flow closed`
- `show sdwan appqoe flow flow-id`
- `show sdwan appqoe flow vpn-id`
- `show sslproxy status`

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。